

## 第 6 回「甲状腺検査評価部会」 開催報告

- 1 日 時：平成 27 年 3 月 24 日（火）13:30～15:10
- 2 場 所：杉妻会館 4 階 「牡丹」
- 3 部会員出席者（50 音順、敬称略）  
[出席] 春日文子、樺田尚樹、渋谷健司、清水一雄（部会長）、津金昌一郎、西美和、星北斗  
[欠席] 加藤良平、清水修二
- 4 事務局等出席者  
＜福島県立医科大学＞  
安村誠司 放射線医学県民健康管理センター副センター長  
鈴木眞一 教授、志村浩己 教授  
＜福島県＞  
鈴木淳一 保健福祉部長、小林弘幸 県民健康調査課長
- 5 議 事：
  - (1) 甲状腺検査
    - ① 進捗状況について
    - ② 中間取りまとめについて
  - (2) その他
- 6 資料一覧：
  - 資料 1-1 県民健康調査「甲状腺検査（先行検査）」結果概要【暫定版】
  - 資料 1-2 県民健康調査「甲状腺検査（本格検査）」実施状況
  - 資料 2 甲状腺検査に関する中間取りまとめ（部会長取りまとめ案）
  - 資料 3 「甲状腺検査に関する中間取りまとめ」について（清水修二部会員）  
※資料 1-1、1-2 は、第 18 回検討委員会資料に同じ。
- 7 主な議論・意見等（要旨）
  - (1) 細胞診施行率（本格検査で低下）について
    - ・ 診断基準は遵守している。先行検査で B 判定となり細胞診を受け良性で経過観察の場合や先行検査 B 判定でも細胞診はしなくていいという超音波診断を受けている場合、先行検査時の診断と本格検査二次検査での超音波の診断がまったく変わらない場合は細胞診には至らない。（医大）
  - (2) 中間取りまとめについて
    - ・ 部会長取りまとめ案を基に議論、これを踏まえ部会長が最終案作成、再度部会員に提示したうえで、次回検討委員会に提出することとなった。